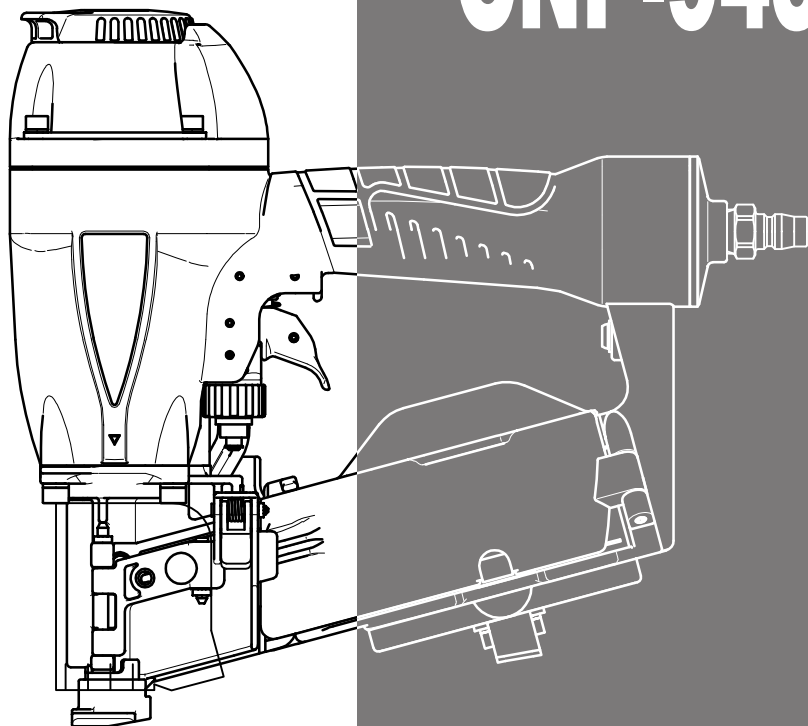




取扱説明書

ワイヤ釘打機

CNP-945P



この度は、当社のワイヤ釘打機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

本機のご使用にあたっては使用上の注意事項、本機の性能、使用方法等について十分にご理解の上、安全に効率よくお使いくださるようお願い致します。

トータル・ファスニング株式会社

◇表示の意味について

使用上の注意事項は「警告」「注意」の区分があり、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取扱いをすると、死亡や重症を負う等
重大な事故につながる可能性が想定される事項です。



注意

誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性
および物的損害が想定される事項です。

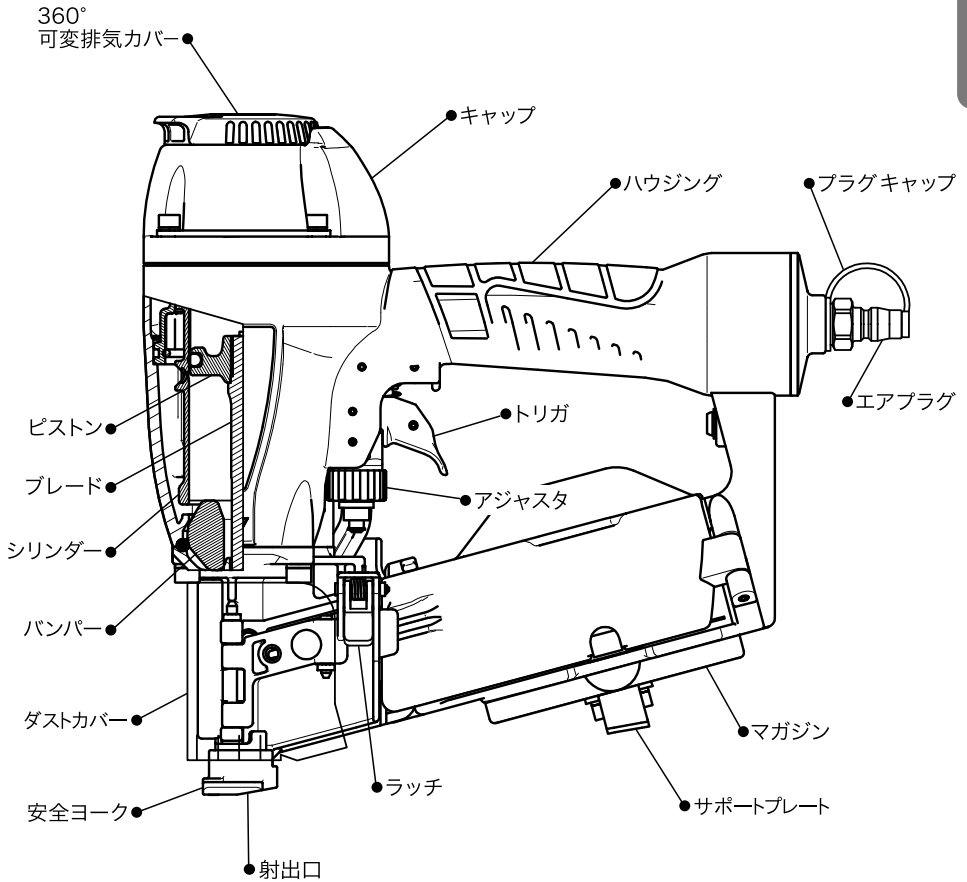
※この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

※本機の仕様は性能向上の為、予告なしに変更することがあります。

目 次

部品の名称	2
仕様	3
使用釘の種類	3
用途	4
標準付属品	4
釘打機を安全に使用する為に	5
作業前の準備	10
使用方法	11
使用後の保守・点検	14

部品の名称



仕 様

	CNP-945P
寸 法 (長さ)	273mm
(幅)	115mm
(高さ)	289mm
重 さ	2.5kg
使用釘長さ	ワイヤ連結釘 (山形連結) 19mm~45mm
使用釘頭径	10mm
装填本数	120本
使用空気圧	0.5~0.8Mpa (5.1~8.1kgf/cm ²)
使用オイル	タービン油 (ISO VG32~68)
エアホース内径	6.5mm以上 (長さ30m以内)

使用釘の種類



警 告

ワイヤ釘打機の故障や事故を避けるため、必ず弊社純正の釘をご使用ください。

上記の仕様に記載されているサイズ(長さ・頭径)の弊社純正ワイヤ釘が使用できます。ワイヤ釘は本機をお買い上げの販売店でお求めください。

【弊社純正ワイヤ釘】

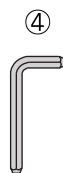
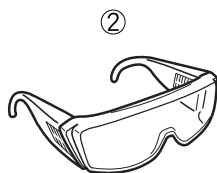
商品名	足長	頭径	線径	材質	形状
WRT32 シングル(メッキ)	32mm	10mm	3.1mm	鉄 メッキ	リング
WRT43 シングル(メッキ)	43mm	10mm	3.1mm	鉄 メッキ	リング

用 途

アスファルトシングル材を使用する屋根の施工。

標準付属品

- | | | |
|---------------|-------|----------|
| ①取扱説明書 | | 1個 |
| ②安全メガネ(保護メガネ) | | 1個 |
| ③油サシ(タービン油入り) | | 1個 |
| ④六角棒レンチ | 3mm | 1本 |
| | 4mm | 1本 |
| | 5mm | 1本 |



釘打機を安全に使用する為に

⚠ 警 告



①作業関係者以外近づけない。

作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。

②作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

③正しい服装で安定した姿勢で作業する。

作業に適した服装で作業してください。また無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業してください。



④作業に入る前に必ず始業点検を行う。

各部のナット、スクリューボルト、ストップリング等の締め金具が緩んでいないか、その他部品が外れたり、傷んでいないかを点検してください。どの部品もそれぞれ大切な役目を果たしております。外れたり、傷んでいると故障や事故の原因となりますので、十分注意して点検してください。



⑤給油を行う。

作業の前後に釘打機のエアプラグ内に、付属のタービン油を2～3滴(0.1cc) 給油してください。



⑥空気圧の点検を行う。

指定の圧力より低いと釘打機の機能を果たしません。また指定の圧力を越えると釘打機の寿命を縮めたり、故障や事故の原因となります。

警告



⑦安全ヨークが正常に作動するか点検し、作動しない場合は絶対に使用しない。

まずエアホースを接続しない状態で安全ヨークを動かし、スムーズに動かか確認してください。

次にエアホースを接続し、下記の現象が発生した場合は使用しないでください。

- トリガを引いただけで作動する。
- トリガを引いていない状態で安全ヨークを押し付けただけで作動する。

⑧必ず当社指定の釘を使用する。

指定以外の釘を使用すると故障や事故の原因となります。

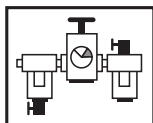
必ず指定の釘を使用してください。

また保管状態の悪い釘は使用しないでください。

⑨エア漏れや異常音が無いかを確認する。

エアホースを接続したら、エア漏れが無いか確認してください。

次に釘を試し打ちし、釘が曲がったり、異常音が発生していないかを確認してください。エア漏れのある場合、その他異常がある場合は絶対に使用しないでください。



⑩動力源は必ず圧縮空気を使用する。

動力源は必ず圧縮空気を使用してください。

酸素ボンベや高圧ガス（アセチレン、プロパン等）は絶対使用しないでください。使用するとポケット釘打機が爆発する等、重大な事故の恐れがあります。



⑪作業中は常に安全メガネを着用する。

打ち損じた釘が跳ね返り、目に入ると失明の恐れがありますので、作業者本人だけでなく周囲の人も必ず安全メガネを着用してください。

⚠ 警 告



⑫防音保護具を着用する。

排気音や排気エアから耳を守る為、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。



⑬危険物の近くでは作業をしない。

打ち込み時に火花が飛散することがありますので、シンナー、ガソリン、塗料、ガス類等の引火や爆発の恐れのある物質の近くでは絶対に使用しないでください。



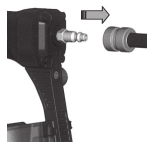
⑭射出口には絶対に手を近づけない。また、材料を手で支える場合は十分注意する。

やむを得ず材料を手で支える際は、射出口付近から離れた、十分安全な場所を支えてください。



⑮エアホースを接続する際は下記を厳守する。

- トリガに触れない。
- 安全ヨーク及び射出口に触れない。
- 安全ヨーク及び射出口を人体や物に押し付けない。
- 射出口を人体に向けない。



⑯移動する際は必ずエアホースを外す。

エアホースを接続した状態で本機を持ち歩いたり、手渡したりすると誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので、移動する際はエアホースを外してください。

⑰釘打機を使用しない時は必ずエアホースを外す。

⑱作業中断時は必ずエアホースを外す。

作業中の釘装填、調整や釘つまりの除去を行う際は、釘の誤射による事故の恐れがありますので、必ずエアホースを外してください。

⚠ 警 告



⑲ 射出口を向け合っでの作業はしない。

相手の姿が見える場合はもちろん、見えない場合でも両側から向かい合っでの同時打ちは大変危険です。

⑳ 機体の反動に注意する。

作業中は釘打機の上方に顔等を近づけないようにしてください。
堅い木や節等を打つと機体が強く反動しますので注意してください。

㉑ ダストカバーは絶対に外さない。

打込対象部材が硬すぎたり、本機の打込能力以上ですと、釘を連結しているワイヤが飛散する場合がありますので、ダストカバーは絶対にはずさないでください。



㉒ 安全ヨークは絶対に改造しない。

㉓ 釘打機の改造は厳禁。



㉔ 作業をする際は次のことを注意する。

- 作業場所は常に整理整頓してください。
- 足場を使って作業をする際は、足場の安全性を十分確認してください。
- 作業場所の照明は十分に明るくしてください。
- エアホースは作業場所の近くに固定してください。エアホースが引っ掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
- 屋根等の傾斜面で釘を打つ際は、下から上へ向かって前進しながら作業してください。後退しながら作業をすると、足を踏み外す等、事故の恐れがあります。

㉕ 直射日光を避ける。

釘打機、エアコンプレッサ、エアホース等を長時間直射日光のあたる場所に放置しないでください。



警告

②⑥ 水が掛かったまま放置しない。

雨等で水分が掛かったまま放置しておくとう錆の発生の原因となり、安全装置が正しく動作しなくなる恐れがあり大変危険です。水が掛った場合は水分をよくふき取り、油等を塗って錆の発生を防止してください。

②⑦ 使用後の注意事項。

使用後はエアホースを外し、釘を抜き取り、エアプラグ内に付属のタービン油を2～3滴（0.1cc）給油してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

作業前の準備

⚠ 警告

○エアホースの準備

内径6.5mm以上、長さ30m以内の常圧エアホースを使用してください。

○エアコンプレッサ内のドレンの除去

内部に水や油が溜まると錆の発生等、故障の原因となります。ご使用前後にエアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩め、内部に溜まった水や油を除去し、乾燥した清浄な圧縮空気を使用してください。

○給油

付属の油サシにてエアプラグ内にタービン油を2～3滴（0.1cc）給油してください。

給油を怠ると釘打機の寿命を縮めたり、故障や事故の原因となりますので必ず行ってください。

○空気圧の調整

使用時の空気圧は釘の長さや対象物の木質等によって異なります。この釘打機の使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で0.5～0.8MPa（5.1～8.1kgf/cm²）です。

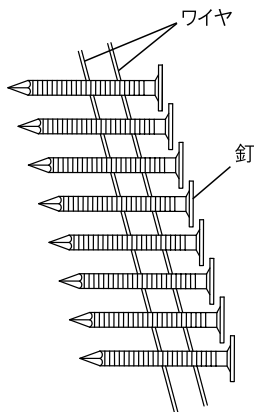
対象物の木質等に合わせ、この範囲内で調整してください。

○釘の点検

釘を装填する前に釘の頭部および足元がワイヤから外れていないか点検してください。

釘がワイヤから外れている場合は、その巻は使用しないでください。

また、保管状態の悪い釘は使用しないでください。



使用 方 法

ご使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

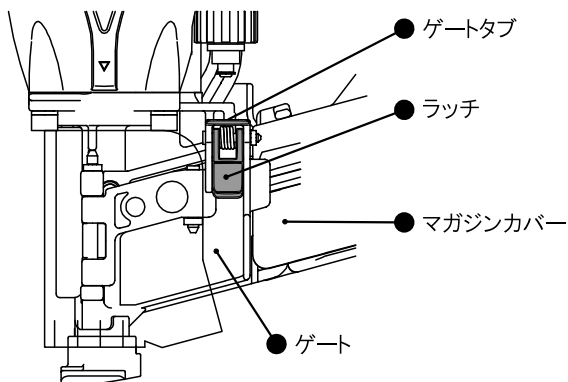
釘の装填



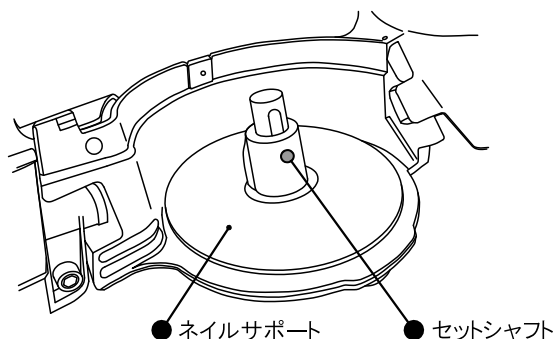
警 告

釘を装填する際は必ずエアホースを外してください。

- 1** ラッチとゲートタブに指を掛け、ラッチをつまみながらゲートを左へ、マガジカバーを右へ開きます。



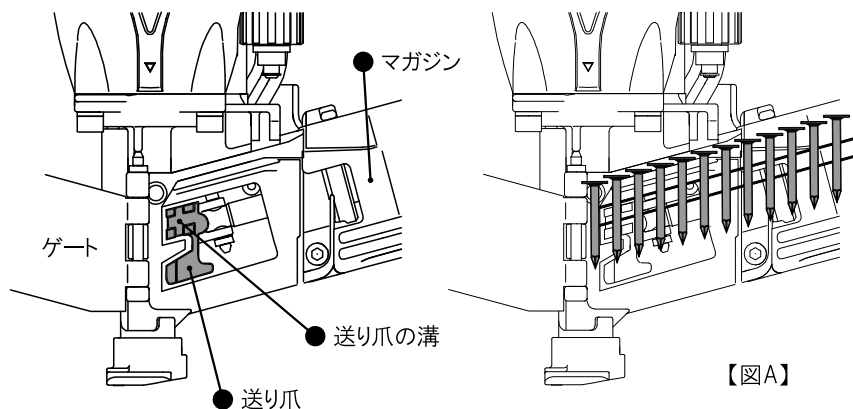
- 2** 使用する釘の長さに合わせてネイルサポートの高さを調整してください。調整はセットシャフトを押しながらネイルサポートを上下に動かしてセットします。



△注意

使用する釘の長さに合わせて、必ずネイルサポートを適正な位置に調整してください。
不適正な位置で使用すると釘の送り不良等不具合が発生します。

- 3** 釘をマガジンに入れ、釘を引き出して送り爪の溝にセットします。【図A】



- 4** マガジンカバー・ゲートの順に閉じます。

- 5** ラッチとゲートタブに指を掛け、ラッチをつまみながらゲートを完全に閉じます。
ラッチが確実に掛かっているか確認してください。

発射方法

単発式

単発式はまず打込対象部材に安全ヨークを押し当ててからトリガを引く方法で、正確性・安全性を要する作業に適しています。

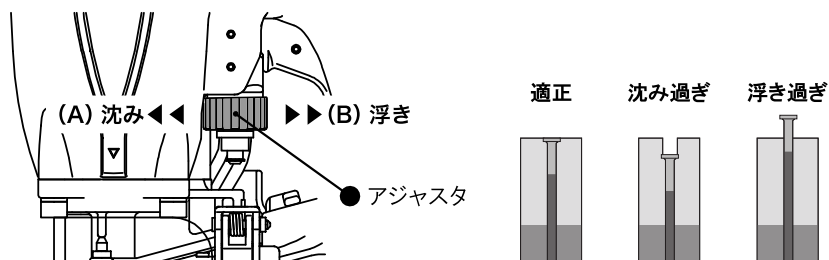
- ① 釘を打つ部材に安全ヨークが奥に突き当たるまで本機を押し当てます。
- ② その状態のままトリガーを引くと釘が発射されます。

※トリガを引いたまま、再度先端ヨークを打込対象部材に押し当てても釘は発射されません。

打ち込み深さの調整

警告 打ち込み深さを調整する際は、必ずエアホースを外してください。

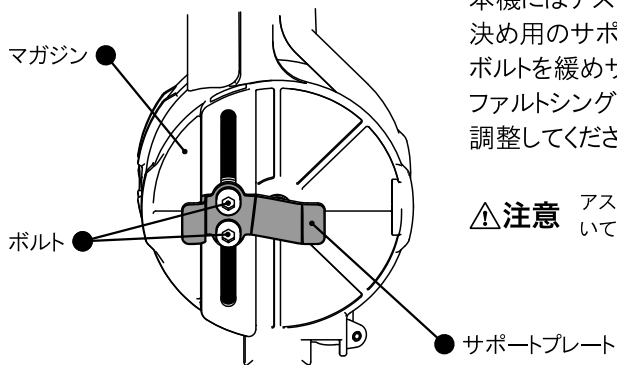
打ち込み深さの調整は安全ヨークのアジャスタで行います。
アジャスタを左方向(A)に回すと打ち込みが深くなります。
アジャスタを右方向(B)に回すと打ち込みが浅くなります。



注意 打ち込み深さは使用空気圧によっても調整できますので、アジャスタによる調整と併用してください。釘の打ち込み抵抗にあわない高い圧力で使用すると機体の寿命を縮めます。

サポートプレートの調整

警告 サポートプレートの調整をする際は、必ずエアホースを外してください。



本機にはアスファルトシングル材の施工位置決め用のサポートプレートが付いています。ボルトを緩めサポートプレートを動かし、アスファルトシングル材の施工位置に合わせて調整してください。

注意 アスファルトシングル材の施工位置については、施工仕様書をご確認ください。

使用後の保守・点検

警告

○プラグキャップの取り付け

エアホースを取り外した際は、エアプラグの根元に取り付けられているプラグキャップをエアプラグに嵌め込み、ゴミや埃、雨水等がポケット釘打機の内部に入らないようにしてください。

○使用後の給油

使用後はエアホースを外し、残った釘を抜き取ってください。

付属の油サシにてエアプラグ内にタービン油を2～3滴（0.1cc）給油し、ケースに入れて常温の乾燥した場所に保管してください。

○エアコンプレッサ内のドレンの除去

作業終了後はエアコンプレッサの電源を切り、空気タンクのドレン抜きを緩め、タンク内の残圧にて内部に溜まった水や油を抜いてください。

特に湿度の高い時期は想像以上に水が溜まりますので、作業後の水抜きは毎日行ってください。

○残った釘の保管

残った釘は箱に納め、安全で常温の乾燥した場所に保管してください。

釘の箱の上には他の品物を載せないでください。

お客様メモ

■本機お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（No）を下欄にメモしておかれますと、修理等を依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号（No）
販売店名	TEL（ ）			—

■お買い上げの商品のご相談は、下記の最寄り営業所までお気軽にお問い合わせください。

- 福島営業所 〒963-0204
福島県郡山市土瓜1丁目71-2 コスモビル1階
TEL 024-961-9871(代) FAX 024-961-3900
- 茨城営業所 〒310-0905
茨城県水戸市石川1丁目3786-1
TEL 029-252-1345(代) FAX 029-252-0281
- 名古屋営業所 〒464-0850
愛知県名古屋市千種区今池4丁目4-9 Park-front今池2階
TEL 052-735-0690(代) FAX 052-745-1360



トータル・ファスニング株式会社

<http://www.total-f.co.jp>

営業本部 〒963-0204 福島県郡山市土瓜1丁目71-2 コスモビル1階
TEL 024-961-9610(代) FAX 024-961-3900